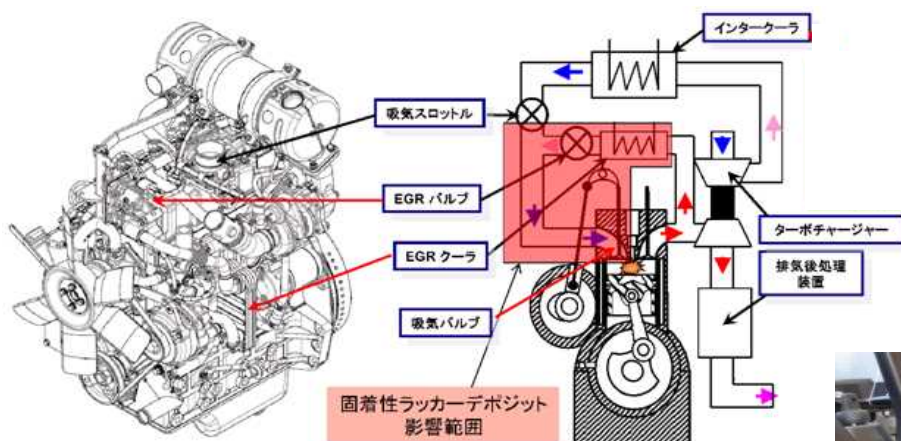


[改善箇所説明図]



プログラムを書き換える ECU



運転席 識別シール貼り付け箇所

不具合発生箇所

刈取脱穀作業車の原動機において、エンジン制御ユニットのプログラムが不適切なため、エンジンの出力回転数が高い状態で出力トルクが低い場合、排気ガス中に含まれる未燃燃料の濃度が高くなり、当該燃料がEGRクーラに回り込み、カーボンデポジットが生成されて吸気バルブおよびEGRバルブに付着することがある。そのため、そのままの状態では長時間駐車されるとカーボンデポジットの粘度が増加し、エンジン始動した際などに、吸気バルブが摺動不良となり、プッシュロッドがロッカアームから外れ、シリンダ内の燃焼が不良となり未燃燃料がDOCへ流れ込み異常燃焼するとともに、EGRバルブの摺動も不良となり、エンジンの出力が制限されるおそれがある。

改善内容

全車両、エンジン制御ユニットのプログラムを対策したものに書き換える。なお、EGR回路、吸気回路を点検し、部品が損傷しているものは、新品に交換する。

識別

エンジン制御ユニット(ECU)と運転席足元に黄色の識別シールを貼り付ける。